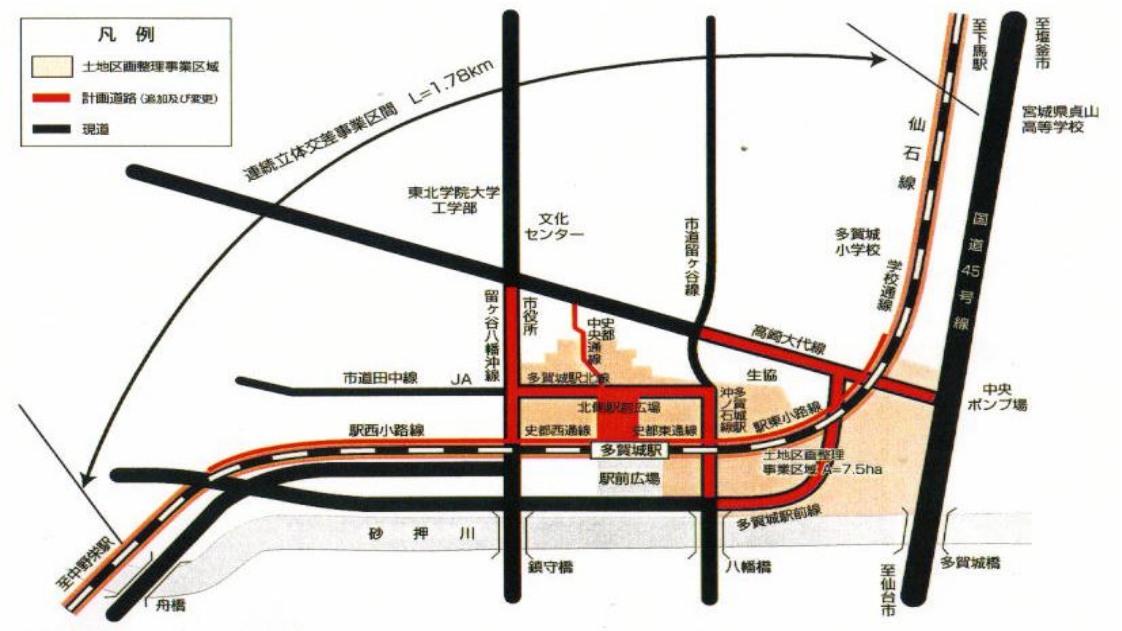
事業区分：市街地整備、補助事業　　施策分類：魅力あふれる都市の再生

事　業　名	ＪＲ仙石線連続立体交差事業（宮城県多賀城市）
概　要	多賀城駅周辺のＪＲ仙石線（約Ｌ＝１．７㎞区間）を連続立体化することにより、慢性的な渋滞箇所である踏切を解消し、道路交通の円滑化と鉄道により分断された市街地の活性化を図ることを目的に事業を推進します。 平成13年度は、一部用地買収を実施する予定です。
事業効果等	

○道路交通環境の改善が図られます。
・踏切による慢性的な交通渋滞の解消や交通事故の防止が図られ、道路交通環境の改善を支援します。
○中心市街地の活性化等安全で快適な都市空間をつくります。
・連続立体交差事業により鉄道による市街地の分断が解消され、同時期に進めている多賀城駅周辺土地区画整理事業と一体的に整備されることにより、中心市街地の活性化にも寄与します。





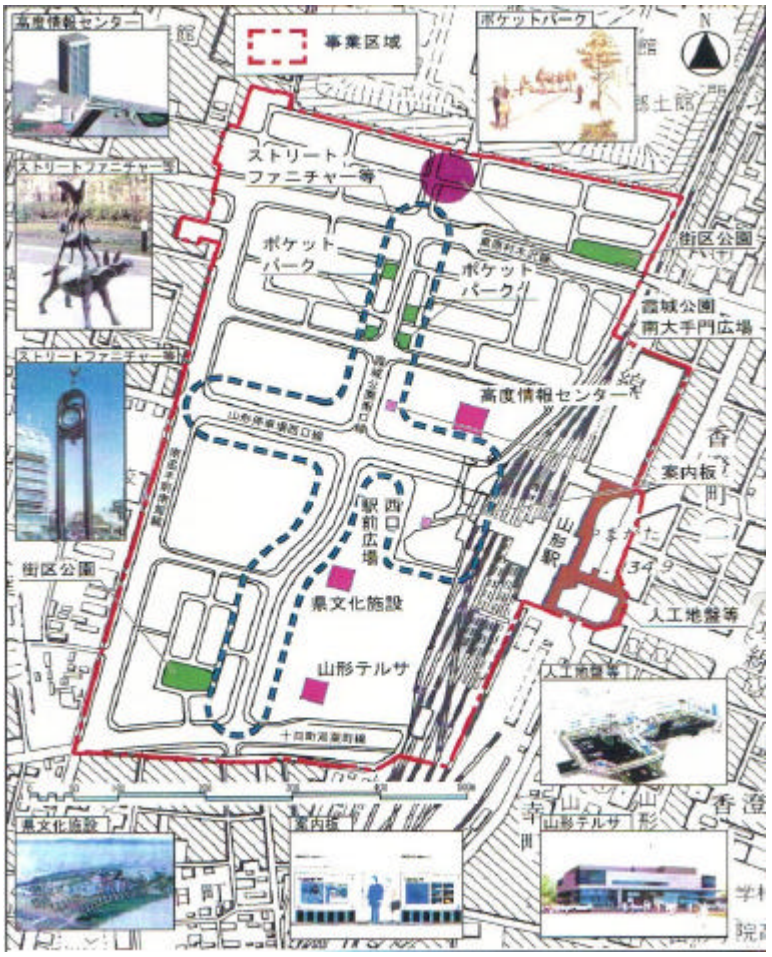
渋滞の著しい留ヶ谷踏切付近

事業区分：市街地整備、補助事業　　施策分類：魅力あふれる都市の再生

事　業　名	まちづくり総合支援事業（山形市中心市街地地区）
事業概要	山形市の中心市街地は公共公益施設が集積するとともに、公共交通機関の拠点となっており、県都としての都市機能を期待されている地域です。しかし、近年の商業基盤の低下、居住人口の減少等空洞化が進んできています。 中心市街地の活性化に向けて、街路、土地区画整理、地域生活基盤施設及び高質空間形成施設等の整備に対し、総合的に支援するものです。
事業効果等	

○地域が主体のまちづくりを支援します。
山形市中心市街地地区における課題である中心市街地活性化に向けて、市で策定した事業計画に基づき、必要な複数の事業をパッケージで一括助成します。
また、事業計画の範囲内であれば、その執行は具体の配分等市の裁量に委ねられます。

○ハード事業からソフト事業まで多彩なメニューで支援します。
山形市中心市街地地区では、街路、公園、土地区画整理、地域生活基盤施設、高質空間形成施設等多彩なメニューによって個性豊かなまちづくりを支援します。



山形駅周辺地区の整備イメージ



山形市中心市街地に位置する“山形駅周辺”、“十日町”、“七日町ほっとなる広場周辺”の各土地区画整理地区を事業区域として取り込んでいます。

事業区分：市街地整備、補助事業　　施策分類：魅力あふれる都市の再生

事　業　名	盛岡駅西口地区土地区画整理事業（岩手県盛岡市）
事　業　概　要	当該地区は現都心に隣接し、新幹線や高速道路等とのアクセス性に優れています。旧国鉄盛岡工場跡地等の大規模空閑地の有効活用を図り、魅力ある都市空間を形成するため、高度な都市機能を備えた新たな都市拠点の形成を土地区画整理事業により実施するものです。 平成13年度は都市計画道路盛岡駅本宮線等の整備を進める予定です。
事 業 効 果 等	

○未利用地を活用した新たな都市拠点の形成が図られます。
ＪＲ盛岡駅に隣接、東北自動車道のＩＣに比較的近いことから、都市構造上重要な位置にある低未利用地を活用した新しい都心機能を複合した都市拠点が形成されます。
また、広域的なターミナル性を持ち合わせた地域となることが期待されています。





完成予想図

事業区分：住宅、補助事業　　施策分類：魅力あふれる都市の再生

事　業　名	山形市営薬師町団地（公営住宅整備事業）
事業概要	所 在 地：山形県山形市 敷地面積：７，０６７㎡ 用　　途：公営住宅　１１８戸（内高齢者用住宅３６戸） デイサービスセンター 保育園 竣工予定：平成１５年度
事業効果等	

・福祉施策との連携やバリアフリー化による高齢者用公営住宅を供給します。
・子育て支援センター（保育園に併設）に隣接し、子育てするのに恵まれた居住環境となります。



施設外観予想図



使いやすい台所

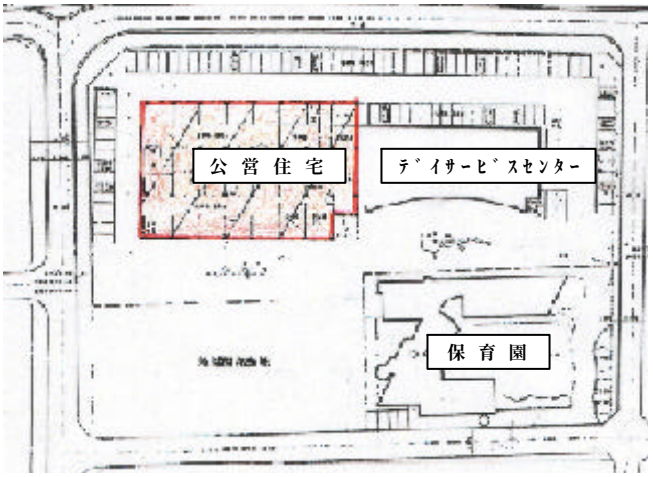


浴室の手すり



トイレの手すり

バリアフリー化住宅のイメージ



施設配置図

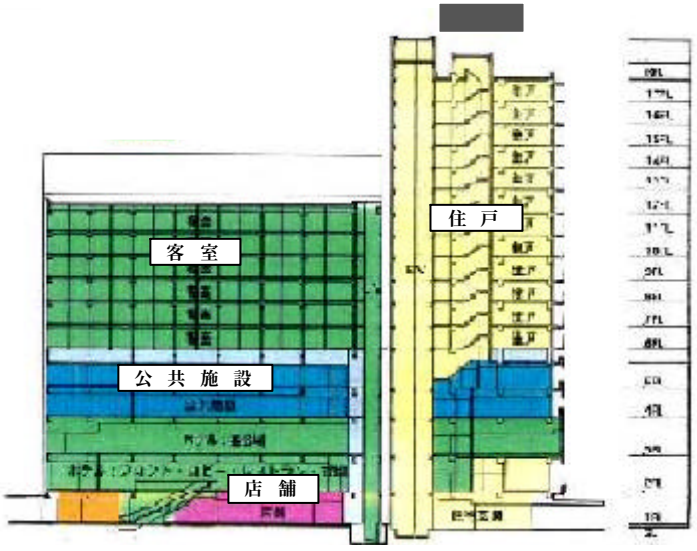
事業区分：住宅、補助事業　　施策分類：魅力あふれる都市の再生

事　業　名	平一町目地区（第一種市街地再開発事業）
事業概要	所　在　地：福島県いわき市 施行地区面積：約０．５６ｈａ 施設概要：ホテル、店舗、業務施設、公共施設、共同住宅、立体駐車場 竣工予定：平成１３年度
事業効果等	

・市街地環境の整備改善と合理的かつ健全な土地利用を実現します。
・中心市街地における街なか居住を促進します。



建物外観予想図



断面構成図

事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：魅力ある都市の再生

事　業　名	五所川原地区消流雪用水導入事業（青森県五所川原市）【H13年度新規】
事業概要	五所川原市は、津軽平野のほぼまん中に位置し、過去における最大積雪深は207cmにも達する、年間の約1／4の期間が雪に閉ざされる特別豪雪地帯に指定されている地域です。 除排雪は、歩道や車道あるいは水路に一時的に堆積した雪を、年数回トラック運搬により排雪していますが、これまで作業時に除雪車に巻き込まれるなどの重大事故等が発生しています。また、堆雪により歩道の確保もできず、交通障害や水量不足によるの水路の閉塞等が発生し、住民の生活に大きな支障をきたしています。 このようなことから消流雪用水導入事業を新規に着手し、岩木川から取水し、市街地の流雪溝に通水することで効率的・効果的な除排雪作業が可能となり、冬期の快適な生活空間の拡大を図られ、地域の活性化に資するものです。 ＜事業内容等＞ 総工費　　約20億円 計画通水量 3m³/S　　取水施設、揚水機場
事業効果等	**流雪溝に通水することにより除排雪作業を効率的・効果的に行い、交通障害の解消など、冬期間の生活環境を改善します。** ・受益面積　約400ha　・受益人口　約17，000人



積雪による通行障害



深夜の排雪作業



事業区分：道路、直轄事業　　施策分類：魅力あふれる都市の再生

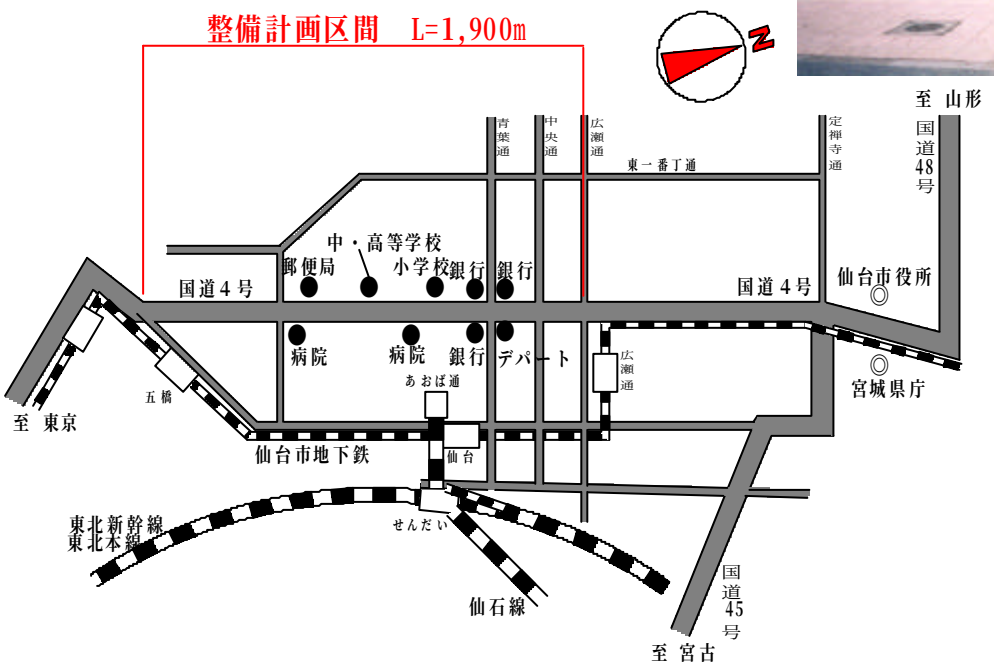
事　業　名	宮城４号　仙台市五橋自歩道
事業概要	一般国道４号、仙台市五橋地区の市街地の駅、病院、福祉施設等の公共施設周辺において、高齢者や障害者にとっても通行しやすい歩道空間の形成を図ります。 平成１３年度より事業に着手します。
事業効果	

【利用しやすい歩行空間への改善を図ります】

・五橋地区は、付近に福祉施設、病院、小学校、地下鉄駅等の公共施設が立地し、歩行者、自転車等の通行が多い区間となっていますが、段差・傾斜により車椅子の通行が困難な箇所や弱視者が誘導ブロックを識別しづらい箇所があります。
このことから、歩道のすりつけ勾配、段差の修正および視覚障害者誘導ブロックを整備し、誰もが利用しやすい歩行空間の確保を図ります。

▼現況の歩道状況





事業区分：道路、直轄事業　　施策分類：魅力あふれる都市の再生

事　業　名	**電線共同溝**
事業概要	電線共同溝は、電線類の地中化により、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観の向上、都市防災、ライフライン及び情報基盤の信頼性の向上を図るものです。 なお、事業は平成 11 年度よりスタートした「“新”電線類地中化計画」に基づき整備促進に努めます。
事業効果等	**電線共同溝の整備効果** ・ 架空電線、電柱の排除により安全で快適な歩行空間の確保 ・ 良好な景観の創出及び保全 ・ 情報機器の活用による迅速な道路情報の収集、提供 ・ 情報通信路の安全性、信頼性の向上

[整備事例]

整　備　前



整　備　後



国道１１２号　山形市内

[整備箇所]

国道　４号　福島県郡山(こおりやま)市　（川向(かわむかい)地区電線共同溝）
平成１３年度整備延長　２５０ｍ

国道　６号　福島県いわき市（堂ノ前(どうのまえ)地区電線共同溝）
平成１３年度整備延長　２６０ｍ

国道　７号　青森県青森(あおもり)市　（篠田(しのだ)地区電線共同溝）
平成１３年度整備延長　５４０ｍ

国道　７号　秋田県秋田(あきた)市　（土崎(つちざき)地区電線共同溝）
平成１３年度整備延長　３００ｍ　　等

事業区分：営繕、直轄事業　　施策分類：魅力ある都市の再生

施　設　名	本荘地方合同庁舎
施設概要	建　設　地：本荘市 構造・規模：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　地上５階地下１階、延べ面積　4,869㎡ 計 画 年 度：平成１２～１３年度 入 居 官 署：秋田地方検察庁本荘支部・区検察庁、秋田地方法務局 本荘支局、本荘税務署、秋田統計情報事務所本荘出張所
整備効果	**官庁施設におけるバリアフリー化の一層の推進** 窓口業務を行う事務室の出入り口に自動ドアの設置、各階に多機能トイレの設置、憩いの場となる空間の提供など、高齢者・障害者はもとより、すべての人が円滑かつ快適に施設を利用できるように、バリアフリー化を図ります。 **地球環境に配慮した施設づくり** 二酸化炭素排出量の削減を図るため、太陽光発電、複層ガラス、地熱を利用したロードヒーターなど、環境負荷低減技術を活用した環境配慮型官庁施設（グリーン庁舎）の整備を行います。試算の結果、従来の庁舎整備水準と比較して、LCCO2が約20%削減できる見込みです。 ※LCCO２：建築物の計画から、建設・運用・廃棄に至るまでのライフサイクルを通じた二酸化炭素排出量 **中心市街地活性化への寄与** 本荘市と共同で開催した「本荘地方合同庁舎周辺地区まちづくり懇談会」において議論された意見を尊重し、広く市民に親しまれ、まちのシンボルとなるような庁舎の整備に努めるとともに、外部空間と一体的・開放的な情報メディアホールの設置などを行います。



本荘地方合同庁舎　完成予想図

事業区分：公園、直轄事業　　施策分類：豊かな暮らしの実現

事　業　名	「秋田の家」整備　(国営みちのく杜の湖畔公園：Ⅰ期地区)
事 業 概 要	東北地方の特色ある歴史・風土・伝統・文化を東北６県にわたり紹介する「ふるさと村」は、移築復元を計画する古民家７棟のうち、現在５棟（鳴瀬河畔の家、遠野の家、月山山麓の家、津軽の家、南会津の家）が供用中であり、平成１３年度は「秋田の家」の展示機器等の整備を進めます。
事業効果等	

・東北の特色ある歴史・風土・伝統・文化等を学習できます。
・天候の影響を受けにくい公園利用が期待できます。



事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：豊かな暮らしの実現

事　業　名	北上川上流　　盛岡地区水辺プラザ整備事業（岩手県盛岡市）［Ｈ１３年度新規］
事　業　概　要	盛岡市は岩手県の中央部に位置し、人口２９万人を有する県内最大の都市であり、古くは南部氏が北上川、雫石川、中津川の三川が合流する丘陵地の不来方の地に築造したことに始まり、「杜と水の都」として周辺の美しい自然環境と古い歴史の中に近代都市の機能をもった街です。 本地域は、東北地方整備局と関係地方自治体が策定した「北上川歴史回廊」構想に基づいてネットワークを形成する水辺プラザであり、盛岡市の総合計画と一体となった「津志田地点の癒しの水辺ゾーン」「三川合流地点の交流拠点ゾーン」「山岸地点の自然体験ゾーン」の整備を行い、潤いのある水辺空間を創造するものです。 東北地方整備局：船着場、低水護岸、坂路、階段工等 盛岡市　　：散策路等

事業効果等

地域間の交流を促進と、潤いのある水辺空間を創造するために環境整備を推進します。

盛岡市の豊かな自然を活かした水辺空間を整備することにより、これを媒体として地域間の交流が図られ、にぎわいのある地域づくりを推進します。

津志田地点



事業区分：河川、補助事業　　施策分類：豊かな暮らしの実現

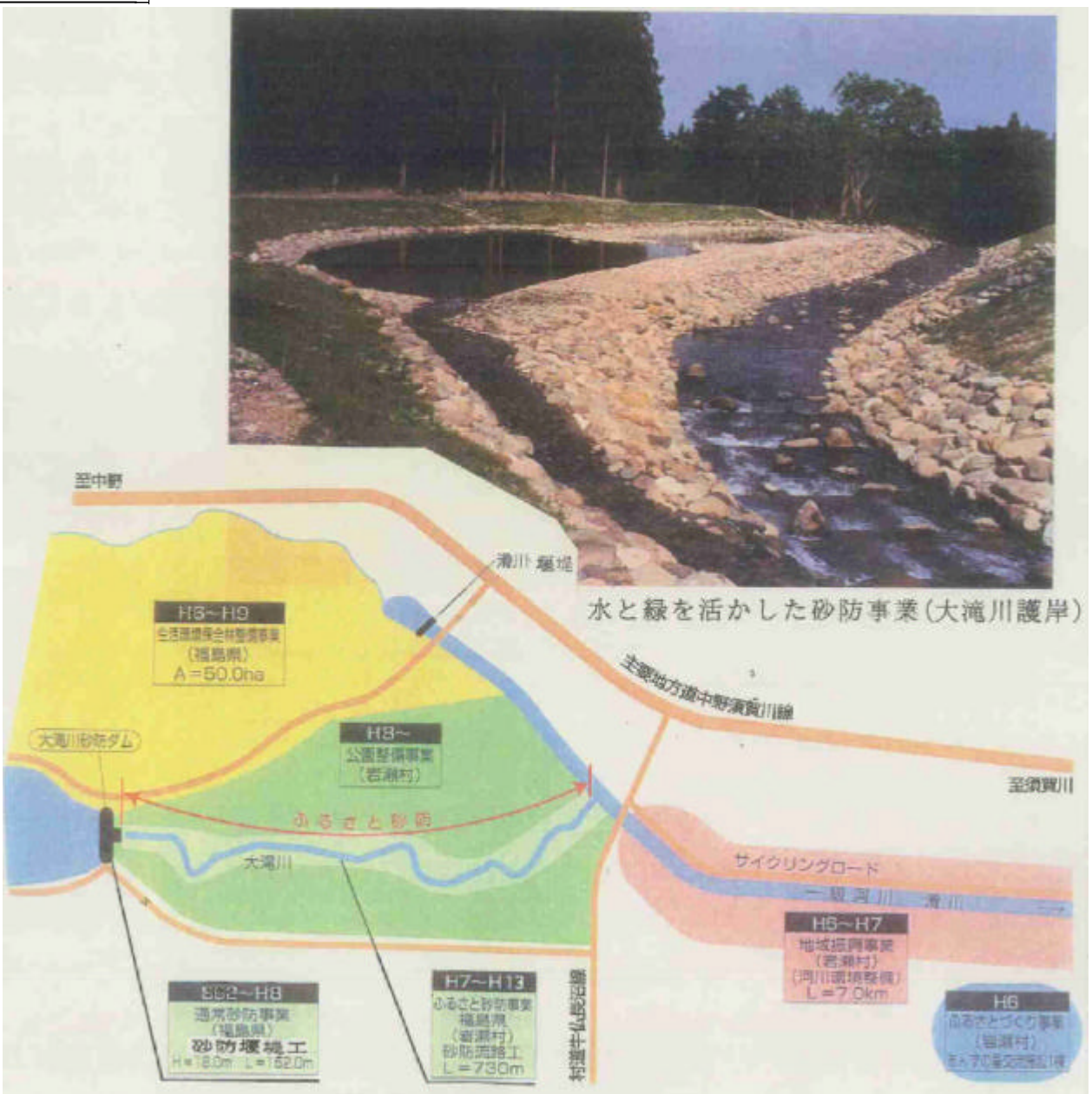
事 業 名	桧木内川（田沢湖工区）広域基幹河川改修事業 （秋田県西木村、田沢湖町）　　【H13年度新規】
事業概要	田沢湖は自然豊かな日本有数の観光地であるが、湖面の水位変動の他、波浪、地質、凍結・融解、雨水、水質等の要因により湖岸の崩壊が著しく、周辺環境に多大な影響を与えているとともに、背後資産や道路等への被害が懸念されている。そのため、平成13年度より広域基幹河川改修事業桧木内川の延伸工区として抜本的な護岸対策を実施する。また、「田沢湖湖岸整備計画検討委員会」を設置し、地元及び有識者等の意見により周辺環境や景観に配慮した護岸工法を採用し、観光地としての自然豊かな田沢湖の魅力を向上させる。 〈田沢湖工区全体事業内容〉 総事業費　４０．３億円　　工　期　H13～H17 築堤･護岸　L＝ 2,500m　　掘　削　V＝ 7,500㎥ 護岸工　L＝ 2,500m　　根固工　L＝ 8,100㎡
事業効果	周辺環境や景観を考慮した護岸工の整備により、地域住民の民生の安定を図るとともに、観光地としての機能回復をめざします。





事業区分：砂防、補助事業　　施策分類：豊かな暮らしの実現

事 業 名	阿武隈川水系通常砂防事業　大滝川護岸（福島県岩瀬郡岩瀬村） （ふるさと砂防事業）　【H13年度完成予定】
事業概要	当地区は、水と緑のふるさと都市近郊農村の建設を目指した「ふるさといわせ２１プラン」における保養レクリェーション地区に位置づけられており、水と緑あふれる当渓流を軸とした「やまぶきの里公園」における都市公園事業と複合かつ一体的な整備を行います。 渓流保全工　Ｌ＝７３０ｍ
事業効果	※都市公園事業と一体的に水と緑あふれる生活空間を創設します。



各種事業の連携による地域づくりの推進

事業区分 :道路、直轄事業　　施策分類 :豊かな暮らしの実現

事　業　名	宮城108号　小牛田(こごた)バイパス　　(H13全線暫定供用)
事業概要	小牛田(こごた)バイパスは、一般国道108号の宮城県遠田(とおだ)郡小牛田(こごた)町内の隘路区間（直角曲がり4箇所等）の解消及び交通安全の確保を目的とした、宮城県遠田(とおだ)郡小牛田(こごた)町字南小牛田(みなみこごた)から同町字蛇沼(じゃぬま)に至る延長4．3kmの4車線の道路であり、平成8年度までに2．7kmを2車線で暫定供用しています。 平成13年度は残る区間において整備を推進し全線暫定供用を図ります。
事業効果等	

隘路区間解消による安全で信頼性の高いﾈｯﾄﾜｰｸの形成、良好な生活環境・歩行環境の実現が図られます

・当該区間の国道108号は、道路幅員が狭いうえ直角曲がりが4箇所もあることから、交通混雑の発生や交通事故が多発しております。バイパスの整備により、交通の隘路箇所の解消が図られ、広域幹線道路としての機能が確保され、安全で信頼性の高いネットワークが形成されます。また、現国道108号の現道では大型交通等の通過交通が排除されるとともに、一部区間において歩道が設置され、良好な生活環境・歩行環境が確保されることとなります。

みやぎ国体を支援します

・平成13年度開催のみやぎ国体の開催会場へのアクセス性を改善し、競技の円滑な実施を支援します。



凡　例	
H13供用予定区間	
供用済区間	



H13供用に向け工事の進む小牛田バイパス

事業区分：空港、直轄事業　　施策分類：豊かな暮らしの実現

事　業　名	仙台空港アクセス鉄道及び誘導路改良
事業概要	**旅客利便性の向上及び地域経済の活性化を図るため、アクセス鉄道の着工に向けた準備と、誘導路改良の整備を進めます。**
事業効果等	



・誘導路改良

一度に４００人程度を運ぶ、大型機　ボーイング777-300に対応した整備が行われています。

・アクセス鉄道
仙台空港までのアクセス手段として、ＪＲ仙台駅から空港まで直接乗り入れるアクセス鉄道が整備されることにより、定時性、速達性が向上します。



《所要時間》

道路(自動車)利用〉

約４０分　（ＪＲ仙台駅～仙台空港）

仙台空港線(電車)利用〉

快速　約１７　短縮効果　約２３分

普通　約２３　短縮効果　約１７分

事業区分：港湾、補助事業　　**施策分類：豊かな暮らしの実現**

事　業　名	海域環境創造事業 松島港）
事業概要	**閉鎖性水域である松島湾は、背後地における都市化・産業発展によって湾内に流入する汚水による負荷量が増大し、海底土質・水質の悪化が指摘され平成４年度より松島港シーブルー事業として水質・景観の改善を目標として取り組んでいます。**
事業効果等	

・日本三景「松島」の優れた自然環境や景観を保全するよう全庁的な取り組みにより、松島湾リフレッシュ事業として下水道・港湾・河川・水産・漁港・畜産・環境の事業が行われています。

・事業の完了した地区においては、海底に生息する生物の種類が増えたり、アサリの自然繁殖が大量にみられるようになった区域があります。

（アサリは、海水中の浮遊物を餌とし海水を濾過します。）

・平成１７年末を中間目標（下表）にしています。

計画目標値　　**（単位：mg/l）**

項　　目	平成3年現況値	平成17年末予測値(無対策)	平成17年末計画目標値
COD(化学的酸素要求量)	２．８０	４．２０	２．００

注)COD は、値が大きくなると、生物の生息ができなくなります。

・松島湾の観光船が巻き上げる、黒く濁った海水が、蒼く透き通った海水によみがえります。



６．国土計画・地域計画等関連調査

21世紀における魅力ある東北地方の創出を図るため、長期的視点から、国土計画、地域計画、都市計画等に関する各種調査を実施しており、平成13年度の主要調査は下記のとおりである。

1) 国土総合開発事業調整費調査

調整費調査は、国土総合開発法に基づく全国総合開発計画等の推進を図るため、開発・保全に関する事業の調査を総合的に調整し、実施することを目的にしており、平成13年度は、「地方都市における都市観光を促進するための基盤整備調査」を継続実施する予定である。

2) 国土開発幹線自動車道調査

国土開発幹線自動車道(国幹道)は、高規格幹線道路網14,000㎞の枢要部分を構成し、地域の連携と交流を促進し、地域の発展を支える基本的な施設として多極分散型国土を形成する上で欠くことのできないものである。また、空港・港湾と有機的に連携し、人・物・情報の流れを効率化することにより、国際化に対応した我が国の経済構造の改革を進める上でも重要な役割を果たすものである。

なお、第32回国土開発幹線自動車道建設審議会（平成11年12月24日）の計画策定により、現在の全国及び東北地方の計画進捗状況は次表に示すとおりである。

（平成13年3月現在）

	全　国　延　長	東北地方建設局管内
予定路線	約１１，５２０ｋｍ	約　１，８９３ｋｍ
基本計画決定	１０，６０７ｋｍ	１，７９２ｋｍ
整備計画決定	９，３４２ｋｍ	１，４２７ｋｍ
供用区間	６，８６１ｋｍ	１，０１９ｋｍ

今後、国幹道の整備については、高速ネットワークの早期整備を図る一方で高速自動車国道の採算性確保を図る必要があること、また重複投資を避けて道路整備の効率的・効果的実施を図る必要があることから、国幹道に並行して一般国道の整備が急務である場合には、両者の性格をあわせもった一般国道自動車専用道路を建設し、その機能を活用することを含め幅広い検討を行う必要がある。

平成13年度における国土開発幹線自動車道調査については、以上のような観点を重視し、整備手法や経済効果等の調査を行うとともに、整備効果等の高い区間については順次計画線調査を実施する。

組織の概要

○東北地方整備局の平成１３年度組織は以下のとおりである。



	平成12年度	平成13年度	増　減
定　員	３，３８９人	３，３３２人	△　５７人

○平成１３年度設置・廃止組織のうち主要なものは以下のとおりである。

※新 組 織　・企画部　技術開発調整官

※廃止組織　・企画部　技術審査官